

ごみ処理施設・リサイクルセンターが本格稼動

愛称は「クリーンわたむき」に決定

日野町大字北脇で平成17年3月から建設を進めていた中部清掃組合「ごみ処理施設・リサイクルセンター」がこのほど完成し、4月1日から本格稼動しました。

施設の愛称は、住民の皆さんから募集し、「クリーンわたむき」に決まりました。この新しくできた施設の概要をお知らせします。

●処理能力

当施設は、「ごみをガス化してから高温で燃やす」「全連続運転式ガス化溶融炉」です。一日当たり180t（60t×3炉）処理することができます。高温で燃やすため、排出されるダイオキシン類の数値は国の基準値の10分の1以下という大変低い値になり、環境にも配慮しています。燃やした後の灰は、高温で溶かして冷却固化（スラグと呼ばれる）し、道路の路盤材など土木建設資材に利用されます。

また、「ごみ処理するだけでなく、余熱を利用して発電を行い、処理施設の電力を補っています。

●リサイクルセンター

ごみ処理施設に併設されたリサイクルセンターでは、容器包装リサイクル法にかかる白色トレイ、紙パック（牛乳パックなど）の圧縮梱包機や、剪定枝をチップ化し（細かく砕き）有機肥料とする破砕機などを導入しました。

また、古紙類をためておく貯留施設を設け、ごみを再資源化するための設

備を整えました。一日あたり1.9t受け入れることができます。

●建設経費

今回の施設費は、「ごみ処理施設とリサイクルセンターを合わせて約90億円となり、日野町の負担額は国・県の補助金を除くと約10億円となりました。

●愛称決定

施設の愛称は、中部清掃組合を構成している1市3町（東近江市・安土町・竜王町・日野町）の住民の皆さんから多数応募いただきました。審査の結果、日野町十禅師にお住まいの久野賢三さん（75歳）の作品、「クリーンわたむき」に決まりました。

「ご応募いただいた皆さん、ありがとうございました。」



十禅師 久野賢三さん

可燃性粗大ごみが搬入できます

中部清掃組合「クリーンわたむき」へ可燃性の粗大ごみの持ち込みができるようになりました。なお、能登川清掃センターへも同じように持ち込みできます。



持ち込みできるもの

◆燃えるごみ

- ・50cm角以下にしてください
- ・剪定の木は、太さ10cm以下、長さ2m以下、枝張りは30cm以下にしてください

◆可燃性の粗大ごみ

- ・布団、毛布、ベッド、マットレス、畳、木製家具、机、イス、衣装ケース、ポリ浴槽、じゅうたんなど



●開設日

月曜日～金曜日（祝日を除く）

午前8時30分から

午後4時30分まで

（正午～午後1時までを除く）

※搬入される場合は、搬入許可書（発行日から10日以内）が必要となります。事前に発行しますので、住民課生活環境交通担当までお越しください。閉庁日は、日直室にて発行します。

ゴミ袋代が変わりました



4月1日から中部清掃組合指定のごみ袋が原油等の高騰により次のように変更となりました。

◆可燃ごみ袋（大）

30枚入り1袋 180円

◆可燃ごみ袋（小）

30枚入り1袋 120円

◆不燃ごみ

10枚入り1袋 120円

▲燃えるごみを搬入する「ターミナル」



チャレンジ23,000人のごみ減量・リサイクル大作戦

めざせ一世帯一日100gのごみ減量

公募で組織された「分別リサイクル推進検討委員会」からの報告を受けて、町では「チャレンジ23,000人のごみ減量・リサイクル大作戦」と題して、ごみ減量に取り組むことになりました。

現在、町では集落単位で担当職員によるごみ減量・リサイクルの説明会を開催



▶説明会の様子

しています。集落や仲間間で「ごみ減量・リサイクル」の勉強会を計画されてはいかがでしょうか。担当職員が、スライドを使って具体的事例を紹介するなど、町のごみの現状や目標とする「めざせ一世帯一日100gのごみ減量」の内容を分かりやすく説明いたします。

説明会をご希望の方は、住民課生活環境交通担当までお問い合わせください。

一人ひとりがごみ減量・リサイクルの意識を高め、ごみの量を減らしましょう。

あぶない!!危険物混入!

3月8日(木)に能登川清掃センターで日野町で回収された不燃ごみの中に、大変危険な「プロパンガスボンベ」が混入した袋が発見されました。ひとつ間違えば、人命にかかわる大きな事故につながる場所でした。

ルールを守って、危険なもの集積所に出さず、適切な処理をしてください。



▶不燃ごみに混入していたプロパンガスボンベ

◆住民課 生活環境交通担当

☎6578 有線67784